取扱説明書

CM350-JP

OPTICOM™ ラックマウント用　光ファイバーエンクロージャー

製品番号: FCE4U

©Panduit Corporation Japan Branch

梱包内容:

エンクロージャー	1	ブッシング	2	ファイバー管理フィンガーキット	8
#12-24X½"ネジ	4	ストレインリリーフブラケット	2	粘着テープ付きコードクリップ	3
M6X1ネジ	4	タックタイ	3	接着固定用マウント	3
#10-32X3/8"ネジ	2	結束バンド(型番:PLT2S-M0)	4	警告ラベル	1
#10-32Hexナット	4	スラックスプール(型番:FMS2)	2	レーザー光線警告ラベル	1

注:光ファイバーケーブルは、過度の張力・屈曲・圧迫によって破損する恐れがあります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。成端の際は、TIA/EIA 568-A、569、606および607に従ってください。

警告:接続していない状態のコネクタはレーザー光線を放射している可能性があります。コネクタの終端を直接目視したり、顕微鏡などで見ないでください。接続していないコネクタにはキャップを取り付けてください。

ファイバー製品を保護するため、エンクロージャーの引き出しの開閉は十分注意して行ってください。

アセンブリ

蓋(取り外し不可)

ケーブル引きこみ口用ブッシング

ケーブル管理クリップ

エンクロージャー本体

ストレインリリーフブラケット

ドア(図は開いた状態です)

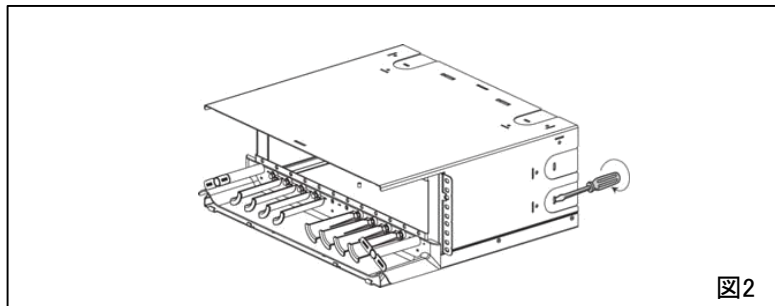
エンクロージャー引き出し

図1

版	制定	作成	承認
ー	2008年6月9日	久保	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

ラックへの取り付け

図2

エンクロージャーのどの位置からケーブルを引き込むかを決定します。トレーのケーブル引きこみ口に取り付けられているノックアウトを、周りを傷つけないよう注意して取り外します。

この時点ではまだブッシングを取り付けないでください。ブッシングはエンクロージャーをラックにマウントした後に取り付けます。

図3A

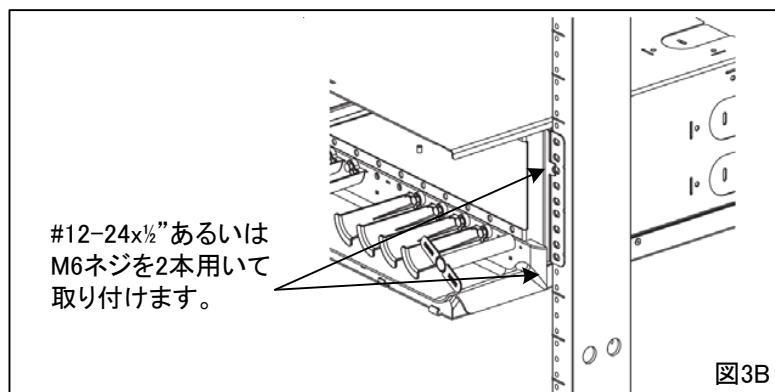
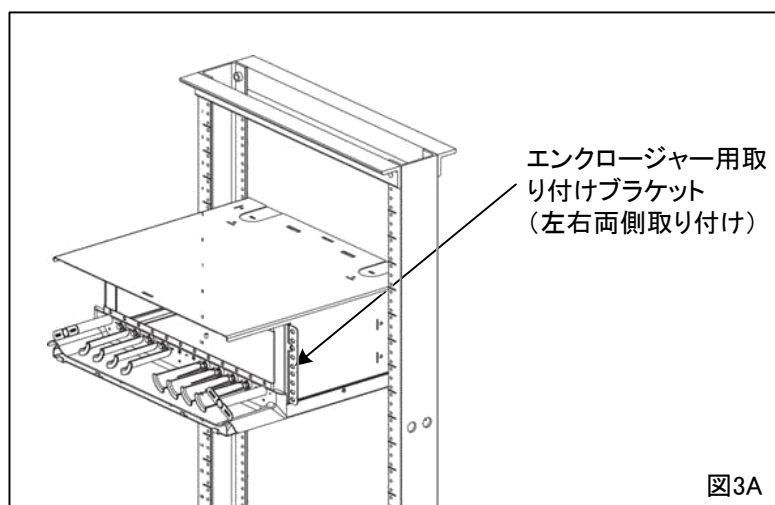
図3B

ラックへの取り付け位置に、エンクロージャー取り付け用ブラケットを設置します。#12-24ネジ4本を用いてエンクロージャーをラックへ取り付けます。
（Metricラックを使用する場合はM6ネジを4本使用します。）

図3C

取扱説明書

CM350-JP

OPTICOM™ ラックマウント用　光ファイバーエンクロージャー

製品番号: FCE4U

©Panduit Corporation Japan Branch

図4A

ラックにエンクロージャーを取り付け、ケーブルを引き込む際に使用するインナーダクトのサイズを決めます。図4Aを参考に、ブッシングを適切なサイズに切り、取り付けます。

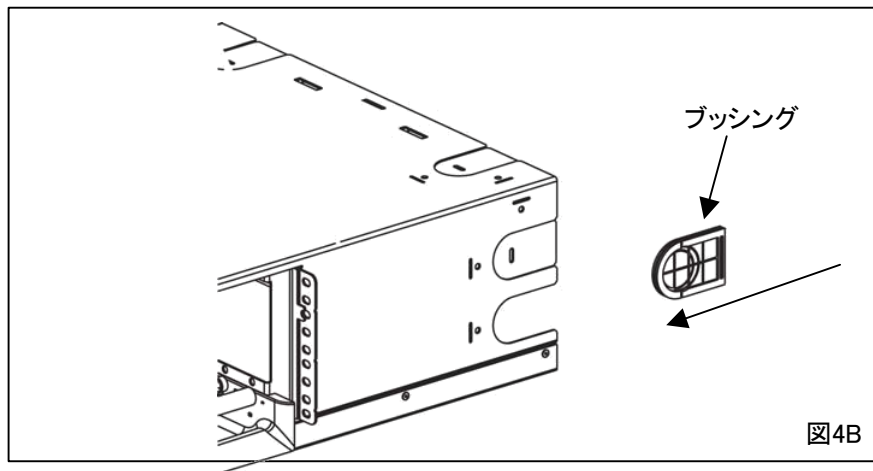



図4B

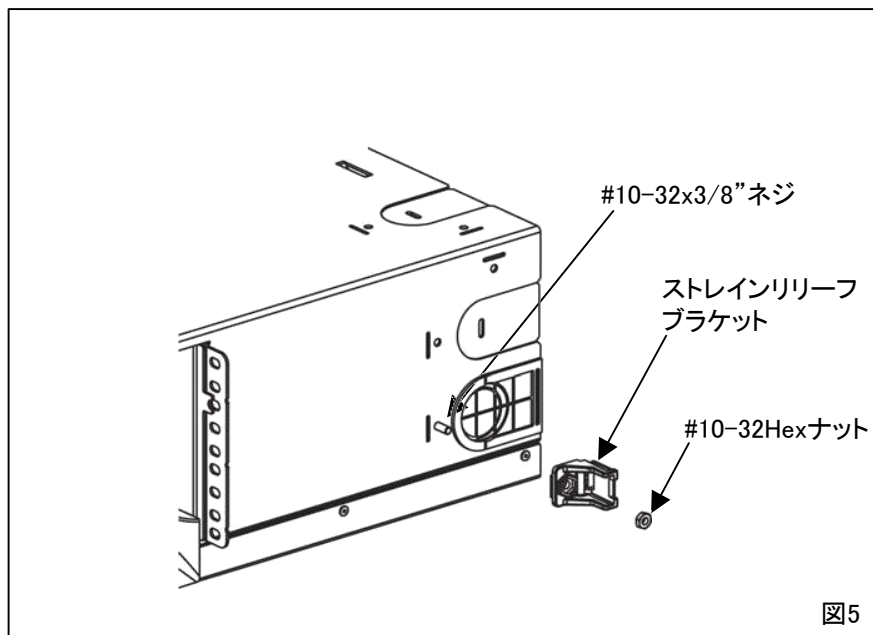
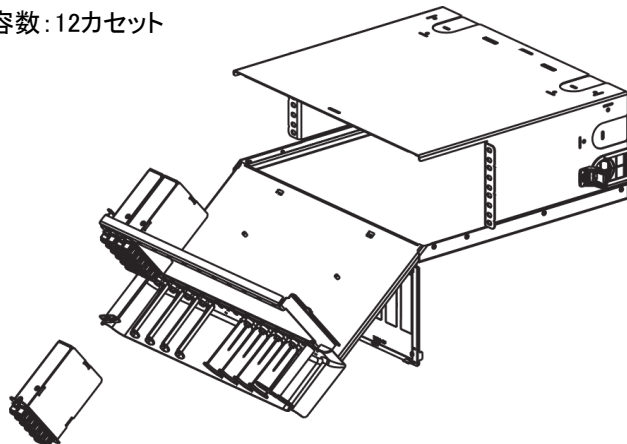



図5

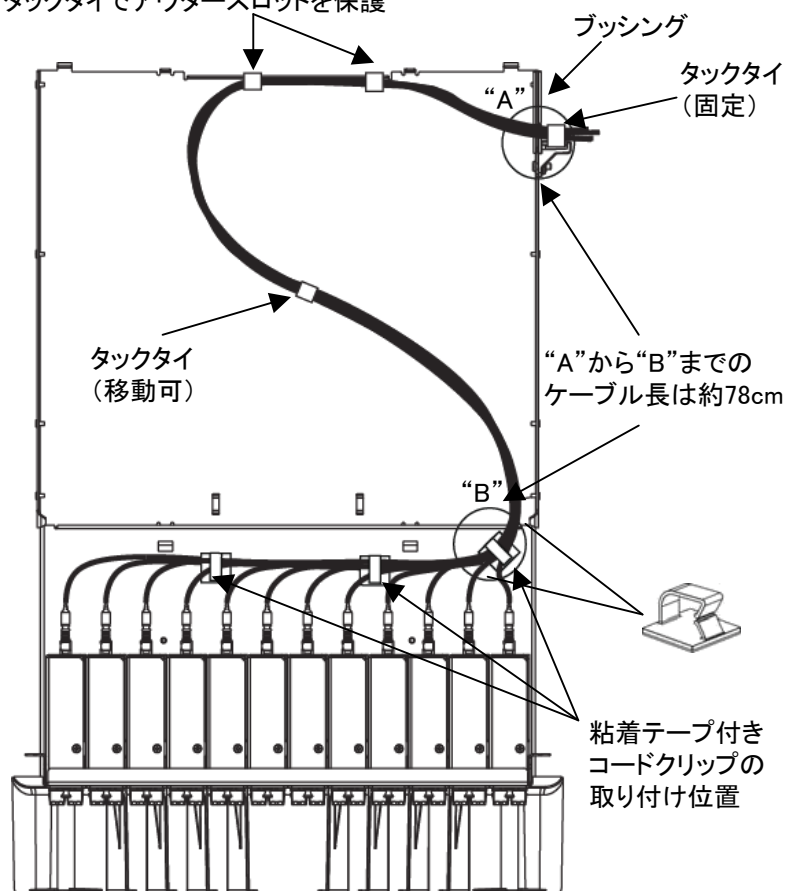
ストレインリリーフブラケットを、#10-32x3/8”ネジおよび#10-32Hexナットを用いてケーブル引きこみ口のすぐ横へ取り付けます。

版	制定	作成	承認
ー	2008年6月9日	久保	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

OPTICOM™・*QUICKNET*™ カセット取り付け

図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。　図6A

図のように*OPTICOM*™・*QUICKNET*™プレターミネートカセットをエンクロージャーに取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、カセットを固定します。

引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

※引き出しを出した状態（カバーは取り外した状態です）　図6B

図のように、ファイバーケーブルを、ブッシングを通してカセットへ配線します。引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図6C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

版	制定	作成	承認
一	2008年6月9日	久保	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

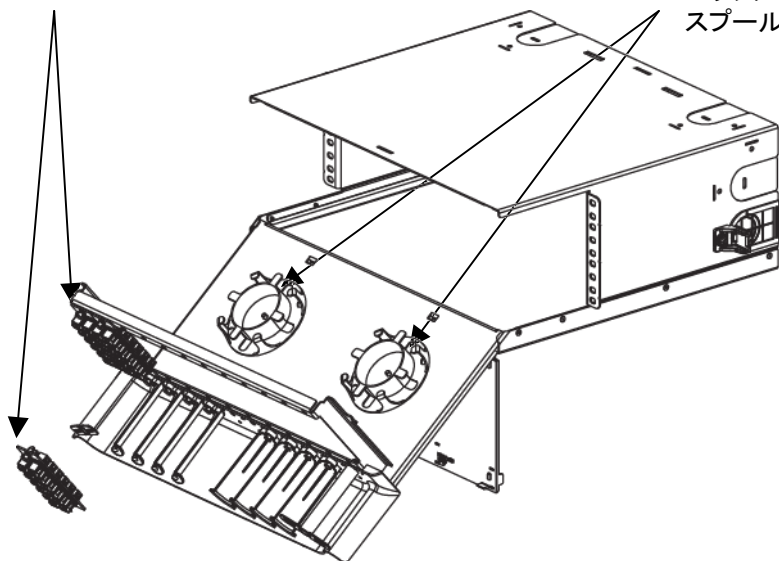
※引き出しを収納した状態（カバーは取り外した状態です）　図6C

©Panduit Corporation Japan Branch

現場成端・トランクケーブル配線

図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。

エンクロージャーを上から見た図
（カバー無）

図7A

引き出し部分の#10-32止め金具にスプールを取り付けます。#10-32Hexナットあるいは両面テープで取り付けます。両面テープを使用する場合は、スプールの穴と同じ位置に穴を開けてください。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。

引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

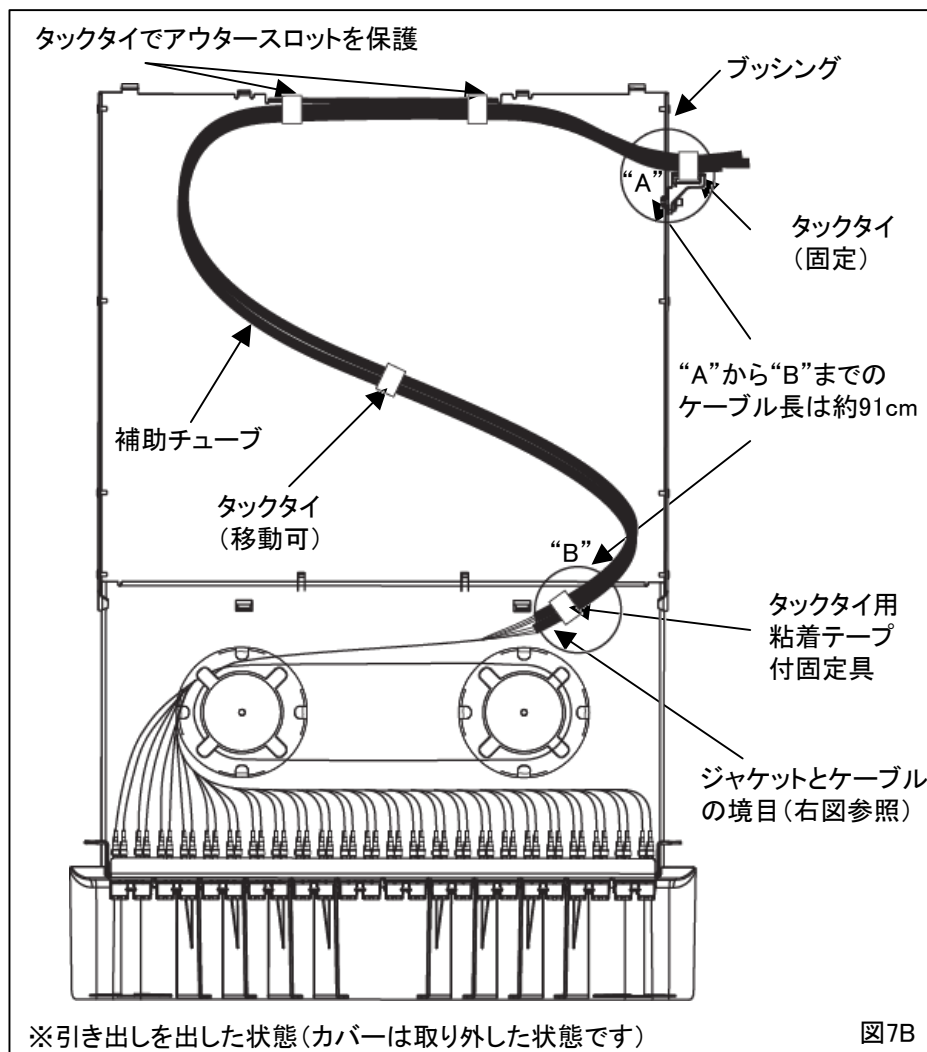
取扱説明書

CM350-JP

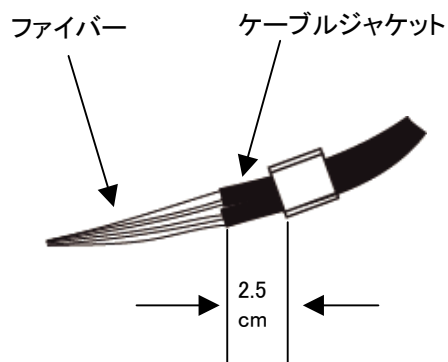
OPTICOM™ ラックマウント用　光ファイバーエンクロージャー

製品番号: FCE4U

©Panduit Corporation Japan Branch

※引き出しを出した状態（カバーは取り外した状態です）　図7B

図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さのケーブル長を確保します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図7C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

ジャケットとケーブルの境目

固定具でトランクケーブルのジャケット部分を押さえます。ファイバーを押さえないよう注意してください。

※引き出しを収納した状態（カバーは取り外した状態です）　図7C

版	制定	作成	承認
ー	2008年6月9日	久保	今野

取扱説明書

CM350-JP

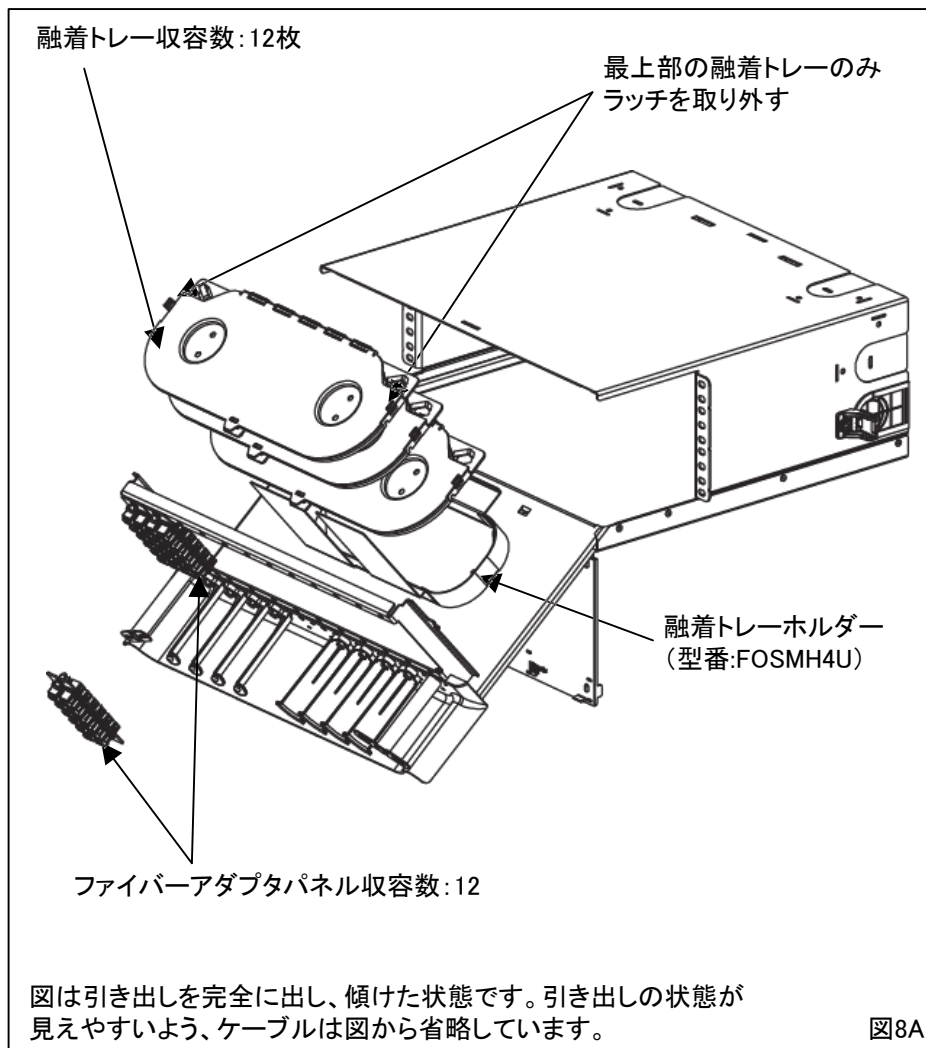
OPTICOM™ ラックマウント用　光ファイバーエンクロージャー

製品番号: FCE4U

©Panduit Corporation Japan Branch

FOSM光ファイバー融着トレー取り付け

図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。引き出しの状態が
見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。

図8A

引き出し部分の#10-32止め金具に、#10-32 Hexナットを用いて融着トレーホルダーを取り付けます。1枚目の融着トレーを融着トレーホルダーに取り付けます。残りの融着トレーを積み上げ、定位置へ固定します。

融着トレーを12枚取り付ける場合は、1番上の融着トレーのラッチは折って取り除きます。ラッチを取り除かないと引き出しが戻りません。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとはめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。

引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

融着トレーを積み上げる際は、各融着トレー内で融着をしてから、次の融着トレーを積み上げてください。

版	制定	作成	承認
ー	2008年6月9日	久保	今野

©Panduit Corporation Japan Branch

※引き出しを出した状態（カバーは取り外した状態です）　図8B

※引き出しを収納した状態（カバーは取り外した状態です）　図8C

図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さのケーブル長を確保します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図8C参照）

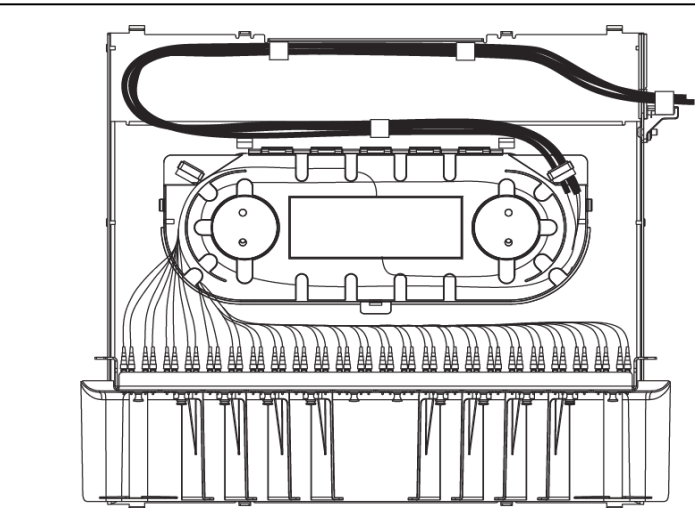
ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

©Panduit Corporation Japan Branch

図9

成端時に前面/背面ドアを取り外した場合は、元に戻します。

レーザー光線警告ラベルおよび警告ラベルを見える位置に添付します。

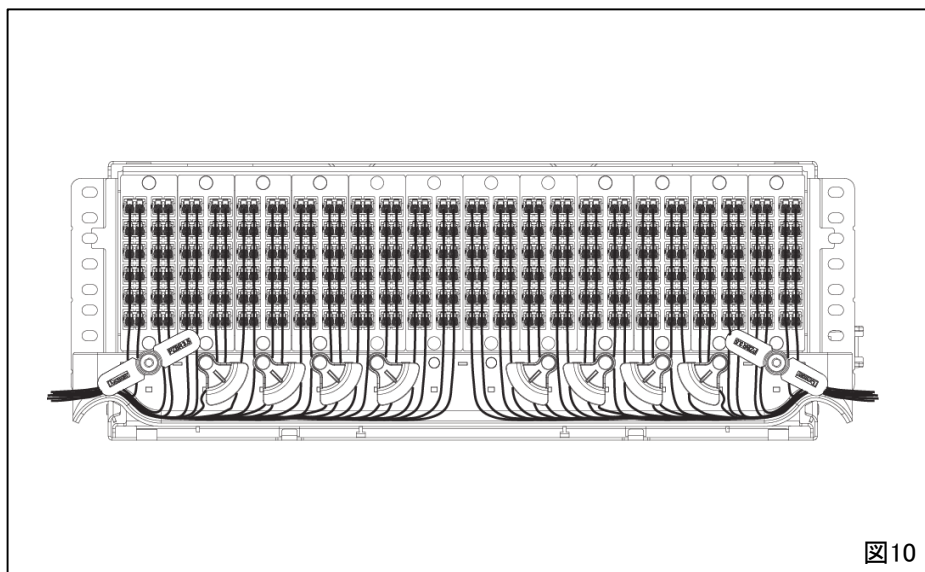



図10

FAPアダプタへ光コネクタを挿入します。光ファイバーケーブルを、ケーブル管理フィンガーの下へ通し、ケーブル管理パネルへ配線します。